

平成24年7月19日

関係機関の長
関係学部等の長 殿

東京大学大気海洋研究所
所長 新野 宏 (公印省略)

教員の公募について

このたび、本研究所では下記の要領で教員を公募します。

記

1. 採用人員 東京大学大気海洋研究所附属国際沿岸海洋研究センター 生物資源再生分野 准教授 1名
2. 任期 5年(再任可。但し1回限りとし、平成34年3月31日を超えることはできない。平成24年10月1日規則制定予定)
3. 採用予定時期 平成24年11月以降のできるだけ早い時期

4. 公募の趣旨

当センター(岩手県大槌町)は、国際的な視点から沿岸海洋環境や生態系の理解および環境保全等に関する研究を進めてきました。昨年3月に発生した東日本大震災は、三陸沿岸域の生態系に甚大な被害を与えました。当センターは、大震災が生態系に及ぼした影響とその再生過程の解明を目指した研究を主導的に展開し、国際的研究拠点として機能すると共に、三陸地域の基幹産業である水産業復興の学術的基礎を固めることを責務と考え、生物資源再生分野を新設しました。

本公募では、大槌湾および三陸沿岸域を主なフィールドとして、魚類等の資源生態学、行動生態学、群集生態学を国内外の大学や試験研究機関と共同して展開し、津波によって破壊された沿岸生態系および生物資源の再生を詳細に観察・解析することにより沿岸域の二次遷移過程・機構に関する研究を強力に推進する方を求めます。さらに、これら復興研究から、水産資源学、海洋生態学などの研究に新たな展開をもたらす意欲的な方を希望します。採用者には、大学院教育にも積極的に携わっていただきます。また、大槌町等と連携して進めている当センターの復興にも参画していただきます。

なお、当センターは、被災した研究棟を仮復旧し、新調査船“グランメーユ”(1.8t、定員10名)と“赤浜”(1.2t、定員4名)を調達して、大槌湾を中心に観測・調査と共同利用・共同研究を再開しています。これらの共同利用・共同研究の実施にも協力していただきます。

5. 提出書類

- 1) 履歴書(東京大学統一様式(http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01_j.html)による。写真貼付)
- 2) 研究業績目録(原著論文、総説、その他に分け、査読の有無を明記すること。また、わかるものについては被引用件数を付記すること)
- 3) 主要論文5編の別刷(またはコピー)各1部
- 4) これまでに行なってきた研究の概要(1200字程度)
- 5) 今後の研究と三陸復興に対する抱負(1200字程度)
- 6) これまでの教育経験と今後の大学院教育への抱負(500字程度)
- 7) これまでに獲得した外部資金、所属学会、学会等における活動実績、その他参考になる事項
- 8) 応募者について参考意見を述べることのできる人(2名)の氏名および連絡先

6. 応募書類提出期限 平成24年9月7日(金)17時必着

7. 提出書類送付先

〒277-8564 千葉県柏市柏の葉5-1-5 東京大学大気海洋研究所・所長 新野 宏 宛

(封筒に「生物資源再生分野准教授応募書類在中」と朱書き、簡易書留等で送付してください。応募書類は本公募の選考に係る作業の目的以外には使用しません。なお、特に要望がない限り、応募書類は選考後も返却いたしません。)

8. 国際沿岸海洋研究センターの教員構成(平成24年7月19日現在)

【分野】	【教授】	【准教授】	【助教】
沿岸生態	道田 豊(兼務)	田中 潔	白井厚太郎
沿岸保全	大竹二雄(センター長)	佐藤克文	福田秀樹
生物資源再生	河村知彦	本公募	公募中

9. 勤務場所

当面、東京大学柏キャンパス(千葉県柏市)が勤務地となりますが、大槌で展開する分野の研究や共同利用・共同研究の状況に応じて、大槌に滞在して研究・業務を行っていただきます。なお、国際沿岸海洋研究センター復旧後は岩手県